

日本

の

2014年

の

訪日外国人旅行者数

です

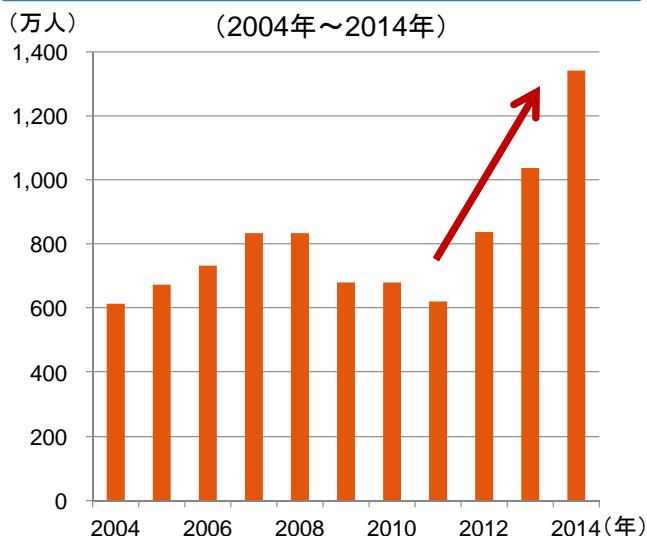
1,341

万人

日本政府観光局(JNTO)が20日に発表した2014年の訪日外国人旅行者数は、前年比29.4%増の1,341万人と推定され、2013年の1,036万人を上回り、2年連続で過去最高を更新しました。その背景には、円安の進行で訪日観光の割安感が強まっていることや、アジア地域の経済成長に伴う海外旅行需要の増加に加え、免税制度の拡充や航空便の新規就航・増便、タイやマレーシアなどからの旅行者に対するビザ発給の大幅要件緩和などがあります。地域別で見ると、前年比で中国が83%増、フィリピンが70%増と、アジアを中心に高い伸びを記録しました。旅行者数では、台湾が最も多い282万人となったほか、韓国や香港などで過去最高を記録しました。

政府は、東京オリンピックが開催される2020年までに、訪日外国人旅行者数を2,000万人まで拡大することを目指しています。2014年の訪日外国人旅行者の合計消費額は、免税品の対象拡大などを背景に前年比で43.3%増加し、初めて2兆円を上回り過去最高となりました。訪日外国人旅行者数が2013年の1,036万人から1,000万人増加した場合、名目国内総生産(GDP)を0.4%押し上げるとも試算されており、訪日外国人旅行者数の拡大は、日本経済の新たな下支え役として注目されます。これまでは、旅行先について、東京や京都、大阪などの都市部に偏る傾向がみられていますが、今後は地方創生も踏まえ、宿泊施設の拡充や、外国人に対応する案内所などの整備を進めることで、地方を訪れる外国人旅行者数の増加が期待されます。

訪日外国人旅行者数の推移



(出所) 日本政府観光局(JNTO)

※上記は過去のものであり、将来を約束するものではありません。

2014年訪日外国人旅行者数の上位10ヵ国

順位	国名	人数(万人)	前年比
1	台湾	283	28.0%
2	韓国	276	12.2%
3	中国	241	83.3%
4	香港	93	24.1%
5	アメリカ	89	11.6%
6	タイ	66	45.0%
7	オーストラリア	30	23.8%
8	マレーシア	25	41.3%
9	シンガポール	23	20.4%
10	イギリス	22	14.8%

■当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。